**＜　　　題　　　目　　　＞**

**『ICT利用による教育改善研究発表会論文』の見本**

研究発表者名・所属

共同研究者名・所属

連絡先（住所・TEL・E-mail）

|  |
| --- |
| **【概要】****日本語（200～250字）で記述下さい****キーワード：**（５つ以内） |

**１．教育改善の目的・目標**

問題の所在を具体的に明らかにし、アクティブ・ラーニング、PBL(問題発見・課題解決型学習)等による教育方法の改善、遠隔(オンライン)授業導入による教育方法の改善等による教育方法の改善、学修成果の測定と可視化など、教育の質向上に向けたICT利用による教育改善の具体的な目的・目標及び解決策を研究する意義を明瞭にして下さい。

（例）問題の所在　　　：基礎学力の不足、自ら学び考える主体性の不足、学修意欲の不足、教室外学修時間の減少、遠隔事業の課題など

（例）研究の目的・目標：知識・技能の定着・活用、思考力・判断力・表現力の獲得、問題発見・解決力の向上、実践力の向上、主体性･多様性･協働性の獲得、学修過程及び学修成果の可視化による成長支援、質を伴った学修時間の増加、遠隔授業の改善充実など

**２．授業概要と教育改善の内容**

教育改善の目的・目標を達成するために、ICTを利用して、どのように改善しようとしたのか、改善の内容及び方法を示して下さい。

（１）授業概要

ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関係性、学修到達目標、事前・事後の学修時間数、

学修成果の評価方法、配当年次、単位数、クラス数、履修者概数など

（２）改善内容

改善を始めた時期と期間、改善の授業形態(双方向型授業、反転授業、遠隔授業、PBL、TBL、事前・

事後学修、協働学修など)、改善研究の仕組み(PDCA)や改善で使用するツール、大学組織としての支援

の有無など

**３．教育実践による教育効果とその確認**

学びが向上した等の教育改善の効果を、データなどに基づいて客観的に示して下さい。(できるだけ**統計的検定結果を含めて**下さい。）

**（客観的に改善効果を示すための参考例)**

（例１）e-LearningシステムのLMSデータ等の分析で、明らかな教育効果の向上が認められた。

（例２）授業アンケート結果で、明らかな教育効果の向上が認められた。

（例３）期末テスト等の経年比較において、明らかな教育効果の向上が認められた。

（例４）ルーブリック評価の結果から、明らかな教育効果の向上が認められた。

（例５）国家試験等の合格者数に明らかな伸びが認められた。

（例６) 第三者による外部評価で効果が認められた。

**４．結果の考察**

　本研究の結果から、ICTの利活用によって教育改善に貢献した要因を考察し、課題や問題点及び今後の発展性、教育の質向上への寄与等について、示して下さい。

**５．謝辞(任意)**

研究協力者名(企業、学生など研究に協力した人)は、ここに含めて下さい。

※研究発表者および共同研究者は、大学･短期大学の教員に限られます。

**６．参考文献および関連URL**

　以下を参考に表記下さい。

[1]著者名、タイトル、論文誌名、巻番号(ゴシック体）、ぺ―ジ番号、年(西暦）

[2]著者名、タイトル、出版社名、年(西暦）

[3]ホームページ名あるいは機関名、URL 、([西暦]年○月○日参照）

**◎『発表会論文』は４ページです。（図表・写真を含む）**

**詳細は「発表会論文のフォーマット」記載内容を参照下さい。**

**◎　Word形式とPDF形式の2つのファイルを提出してください。**